



みなみっ子

学校教育目標

○かしこく

○やさしく

○たくましく

令和7年6月25日(水)

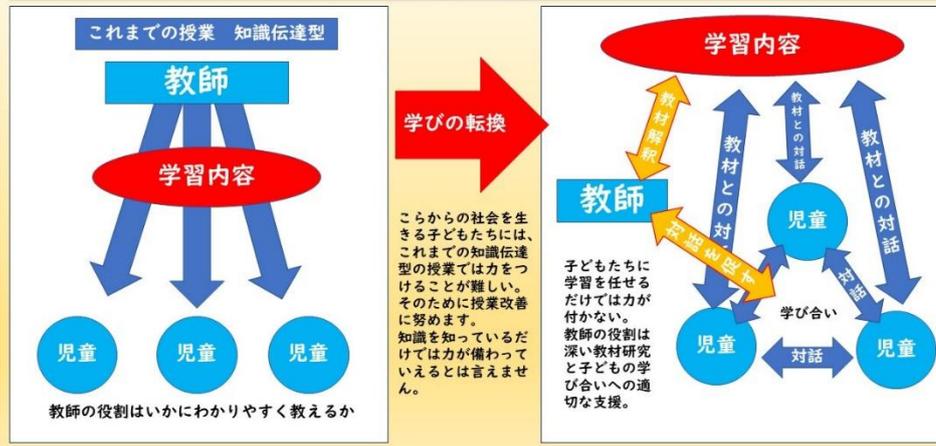
南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

6号

今回の学校だよりは、今、学校が取り組んでいる「**授業・学習**」について確認します。

現在の学習「主体的・対話的で深い学び」



左の図は、文部科学省が示す今の学習指導要領の内容を習得・活用・探究するための授業を図で表しました。保護者の皆さんが学校で受けてきた授業は「**これまでの授業**」であり、右側は本校を含め全国の学校で取り組はじめている**授業の図**です。

何が大きな違いなのかというと、知識や技能はこれまで同様大切ですが、断片的な知識とせずに関連づけることや活用する

ことを大切にします。さらに学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等（確かな学力）を高めることが大切になります。私たち学校で、全ての学級において授業改善に向けて挑戦をしています。子どもたち一人ひとりが「確かな学力」身につくように全職員で授業改善に努めていきます。



答えは？「**もんがまえ**？」答えは「もんがまえ」は「聞」だけで、問の部首は「口」、聞の部首は「耳」です。これは大人でもよく間違えてしまいます。形声文字の漢字は意味を表す部分（部首）と読み（音読み）を表す部分に分かれます。ただ単に形だけで覚えていると間違えてしまいます。仕組みが大切です。漢字の学習においても意味理解を図ることは大切なポイントです。何度も機械的に書くだけでは習得は難しいです



▲ OECD の Education2030 プロジェクトで創り上げたラーニング・コンパス (学びの羅針盤)

左に示すラーニングコンパス 2030 は OECD が提唱する教育の新しい枠組みで、子どもたちが未知の環境を自力で歩み、責任を持って進むべき方向を見出すことの重要性を強調しています。具体的には以下の3つの力が求められています。

- 新たな価値を創造する力
- 責任ある行動をとる力
- 対立やジレンマを克服する力

このコンパスは、個人や社会のウェルビーイングを実現するための方向性を示し、複雑で不確かな世界を生き抜く力を育くことを目指しています。

ここに示されていることは一見難しそうですが、全ての人が**主体性**を持つこと、つまり**自ら行動することや、自分に責任を持つこと**になります。子どもが主体的になることは、私たち大人も主体的になることでもあります。